

2年 社 会 （週3時間）

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 年間学習計画と単元(題材)

<歴史的分野>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 学 期	4	・結びつく世界との 出会い	・ルネサンスと宗教改革 ・大航海時代	・世界が結び付きヨーロッパ諸国 による世界進出がなされている ことを理解している。 ・織田、豊臣による統一事業を理解 する。 ・江戸幕府の成立と鎖国政策、幕 藩政治などを理解する。 ・経済の発達と町人文化や政治 改革を多面的・多角的に考察 し、表現している。 ・市民革命や産業革命の影響につ いて、多面的・多角的に考察し、 表現している。 ・開国と江戸幕府の滅亡を理解す る。
	5			
	6			
2 学 期	7	・近世の日本と世界	・天下統一への歩み ・幕藩体制の確立と鎖国 ・経済の成長と幕政の改革	
	8			
	9			
2 学 期	10	・近代の幕開け	・近代世界の確立とアジア ・開国と幕府政治の終わり	
	11			
	12			

<地理的分野>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
2 学 期	9	・日本の諸地域	・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	・日本の諸地域を自然環境、歴史 的背景、産業、環境問題や環境 保全、人口や都市・村落、生活 ・文化、他地域との結び付きの いずれかの視点からそれぞれの 地域的な特色を捉えることがで きる。
	10			
	11			
	12			
3 学 期	1	・地域の在り方	・持続可能な社会を目指す ための、地域の在り方	・持続可能な地域の在り方を構想 するために、地域の地理的な課 題を把握し、課題解決のために 必要な取り組みを考え、分かり やすく説得力のある伝え方で発 信することができる。
	2			

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評価方法
社会的事象についての知識・理解および資料活用の技能	・ 資料を適切に活用して、ワークシートに取り組んでいる。 ・ テストにおいて資料から適切な解答ができている。 ・ 社会的事象についての理解を深め、知識を身に付けている。 ・ テーマに沿ったレポートを作成できている。	・ ワークシート ・ 小テスト ・ レポート作成 ・ 定期テストにおける資料読み取り問題
社会的な思考・判断・表現	・ テーマに沿ったレポートに自分の考えを表現することができる。 ・ テストにおいて、記述問題に解答できている。 ・ 作成したレポートやスライドを簡潔にまとめ分かりやすく発表できている。	・ ワークシート ・ レポート作成 ・ 定期テストにおける記述問題
主体的に学習に取り組む態度	・ 予習、復習を含めた授業準備をし、授業に臨んでいる。 ・ 社会の動きを新聞やニュースなどから読み取り理解し関心をもっている。 ・ 作成したレポートやスライドに自らの意見や考えをまとめられている。	・ 提出物（ノート、ワークなど） ・ 定期テスト ・ レポート発表

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・ 黒板に書かれたことは、その時間の記録です。ワークシートやノートに必ず書き写しましょう。字は丁寧にはっきりと書き、色ペンなどで工夫しまとめましょう。
- ・ 分からないことをそのままにしないで、休み時間や放課後を利用し積極的に質問しましょう。
- ・ タブレットは大変、便利な文房具です。積極的に活用し技能を身に付けましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・ 宿題について・・・宿題はやらねばならない課題です。教科書を読んで取り組んでかまいません。丁寧に調べて取り組みましょう。また、普段から漢字を使う努力をしましょう。
- ・ 復習について・・・授業で学習した部分は、教科書やノートを読み直してその日に復習をしましょう。また、ノートの余白に自分の感想や疑問を書きましょう。疑問に思ったことは、調べたり先生に質問したりしましょう。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・ 教科書に書かれている内容を理解して、読み込むことが大切です。必ず文章を一読しましょう。
- ・ ノートには授業の要点がまとめられています。ノートを中心に勉強しましょう。
- ・ 資料から情報を読み取る問題も出題します。資料集の統計資料や写真などをよく確認しておきましょう。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・ 毎時間の授業では黒板に書いたことを丁寧にノートに書き写すようにしましょう。
- ・ 授業の復習を丁寧にやりましょう。（復習のやり方は5で説明した通りです）
- ・ 苦手な箇所は、ワークや問題集を繰り返し解きましょう。